

授業科目	事前及び事後の指導（2017年度入学生）				単位	1		
履修	選択	関連資格	栄教一種免		ナンバリング	NT34122J		
開講年次	3～4年	開講時期	三期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP5-1			
担当教員	手嶋 英津子、扇谷 恵美子							
授業概要	履修した教職科目の理論や技術をもとに、教育現場における実践的な食の指導を体験するための栄養教育実習を受けるに当たって、心がまえや予備知識について講義する。また、教育実習の成果が高まるように、食の指導にかかわる授業研究について解説する。実習後においては、実習中の反省、問題点の整理・分析を行い、今後の課題が明確に認識できるよう事例発表、クラス討論を行う。							
学生が達成すべき行動目標	1. 事前：教育実習の意義と目的、実習にあたっての心がまえ、実習中の注意点を理解し、食の指導に関わる授業研究を実践できる。 2. 事後：実習の習得事項から自省的整理を行い、今後の課題を明確にすることができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	70	30	0	100	
知識・理解 (DP1-1)					5		5	
知識・理解 (DP1-2)				30			30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)				20	10		30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)					5		5	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)				5			5	
態度 (DP4-2)				5	10		15	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				10			10	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
事前・事後指導の基本的な知識をよく理解し、教育現場での様々な問題や課題に応用することができる。				事前：教育実習の基本的な知識を身に付け、理解し説明することができる。 事後：実習の習得内容から、今後の課題を明確にすることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	テーマ:事前指導(1)(手嶋) 教育実習のシステムー教育実習の意義と目的。実習にあたっての注意点。	講義	授業内容の定着を図る。	60
2	テーマ:事前指導(2)(外部講師、手嶋) 「栄養教諭が行う食に関する指導と給食管理」栄養教諭に求められる役割について解説する。	講義	演習内容を踏まえて各自の具体的な取り組みを検討し、次回の演習に臨む。	60
3	テーマ:人権教育 全学で実施(3月下旬を予定) (外部講師、手嶋) 教育の場で必要な人権に関する事項について学ぶ。	講義	授業内容の定着を図る。	60
4	テーマ:事前指導(3)(手嶋・扇谷) 実習中のコミュニケーションの構築法。	講義	授業内容の定着を図る。	60
5	テーマ:事前指導(4)(手嶋・扇谷) 食の指導に関する模擬授業の実践(1年生)。	講義・演習	演習内容を踏まえて各自の具体的な取り組みを検討し、次回の演習に臨む。	60
6	テーマ:事前指導(5)(手嶋・扇谷) 食の指導に関する模擬授業の実践(2年生)。	講義・演習	演習内容を踏まえて各自の具体的な取り組みを検討し、次回の演習に臨む。	60
7	テーマ:事前指導(6)(手嶋・扇谷) 食の指導に関する模擬授業の実践(3年生)。	講義・演習	演習内容を踏まえて各自の具体的な取り組みを検討し、次回の演習に臨む。	60
8	テーマ:事前指導(7)(手嶋・扇谷) 食の指導に関する模擬授業の実践(4年生)。	講義・演習	演習内容を踏まえて各自の具体的な取り組みを検討し、次回の演習に臨む。	60
9	テーマ:事前指導(8)(手嶋・扇谷) 食の指導に関する模擬授業の実践(5、6年生)。	講義・演習	演習内容を踏まえて各自の具体的な取り組みを検討し、次回の演習に臨む。	60
10	テーマ:事前指導(9)(手嶋・扇谷) 食の指導の実際	講義	授業内容の定着を図る。	60
11	テーマ:事前指導(10)(手嶋) 実習課題の取り組み、実習ノート作成、実習に関する取り組み、諸注意。	講義	授業内容の定着を図る。	60
12	テーマ:事後指導(1)(手嶋) 教育実習の問題点の整理と課題発見	講義・演習	実習中の問題点の整理と課題・実習研究内容を整理し、まとめる。	60
13	テーマ:事後指導(2)(手嶋) 教育実習を通して得た課題について発表する。	演習	実習中の問題点の整理と課題・実習研究内容を整理し、まとめる。	60
14	テーマ:事後指導(3)(手嶋) 実習総括	講義	これまでの授業全体を復習しておく。	60
15	テーマ:事後指導(4)(手嶋、扇谷) 教育実習報告会ープレゼンテーション。	スライドによる報告会、資料配布、3年生合同参加	実習課題と成果の振り返り。	60
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	積極的な取り組みが必要です。			
テキスト	指定しない。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書：教育実習の研究（教師養成研究会） 必要に応じて、資料を配付する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	教育実習の場では、学生諸姉は、学生であるとともに、児童生徒にとっては教諭となります。この授業を通して、自らの教育実習に取り組むための意識を高く持ち、実習の場での貴重な経験から学んだことを生かして、子どもたちの生涯にわたる健康作りを支える栄養教諭への道筋となることを期待しています。			
達成度評価に関するコメント	実習報告会などの内容については、授業の中で指示する。			